

平成29年度 向日市競輪対策協議会議事録

- 開催日時** 平成30年1月15日（月）
午前10時30分から11時30分まで
- 開催場所** 向日市福社会館3階 大会議室
- 出席委員** 安田市長（会長）、五十棲副市長（副会長）、清水向日市区長会長、
梶間向日台連合自治会副会長（向日台連合自治会長代理）、岡崎
寺戸連合自治会長、片山向日区長、田中向日市小・中校長会会長、
小野向日市PTA連絡協議会理事、高橋向日市商工会長、磯野府
議会議員、永井市議会議長、松山市議会副議長、北林まちづくり
・競輪対策特別委員会委員長、近藤まちづくり・競輪対策特別委
員会副委員長、南京都府山城広域振興局副局長、高野京都府自転
車競技事務所長、水口京都府乙訓土木事務所長、前田京都府総務
部副部長
- 欠席者** 湊田向日町警察署地域課長（向日町警察署長代理）、古澤京都府
総務部総務調整課長
- 事務局** 山田市民生活部長、日下部環境政策課長、山口環境政策課係長、
中村環境政策課主査
- 関係職員**
（京都府） 石田京都府自転車競技事務所次長、奥田京都府総務部総務調整課
副主査
（向日市） 大野企画理事、鈴木総務部長、福岡建設産業部長、厳島建設産業
部副部長兼都市計画課長、長谷川企画調整課長、鹿島企画調整課
担当課長
- 傍聴者** 3名
- 議 題** （1）競輪開催状況等について
（2）その他
- 内 容**
- 自転車競技
事務所長 議題（1）競輪開催状況等について説明

P 1 「入場人員及び売上額推移」

「本場開催」・・・向日町競輪場でレースを行うもの

「場外開催」・・・他の競輪場で開催されているレースの場外車券売場となっている場合の状況を示したもの

本場開催時のピーク

平成 27年度 開催日数：87日 入場：57万6千人
売上：356億円

↓

平成28年度 開催日数：46日 入場：6万8千人
売上：114億円

場外開催

平成28年度 入場：35万1千人 売上：47億円

○ 平成27年度は第2回国際自転車トラック競技支援競輪を開催したことによる売上の増加があったが、平成28年度は開催が無く、前々年度並の水準を推移した。また、平成28年度の売上の内訳として、場内によるものが全体の6%を占め、その他インターネットや場外発売での売上が大半を占めている。

P 2 「駐車場の利用状況推移」

○ 駅からの無料送迎バスのほか、車で来場するファンのために1,110台の駐車スペースを確保している。

平成28年度の実績では

・本場開催 平均355台/日

・場外開催 平均276台/日 となっている。

○ 民間から借り上げていた市役所北側の第2駐車場については、利用者が減っていることから平成29年9月までで契約を解除し、10月以降は使用していない。

P 3 「平成29年度入場人員・売上額・駐車状況」

○ 9月は平安賞を開催したこともあり、売上が他の月よりも多くなっている。

○ 開催日数の年間のトータルは、本場開催が46日、場外開催が275日になる予定である。

P 4 「施設利用状況」

- 向日町会館やスポーツ施設などの施設利用人員については、約14万6千人であり、そのうち約8万人が乙訓商工・観光協議会主催の「大物産展+激辛ワールドフェス」の開催によるものである。

議題（2）その他について説明

「包括民間委託」について

- 経営を取り巻く環境が非常に厳しくなっていることから、平成29年度から31年度までの3年間、民間事業者のノウハウを活用し、経営改善を図るために、競輪開催に係る運営業務について包括的に民間委託を開始した。

委託先については、公募で企画提案をいただき、外部有識者の意見等を踏まえた上で選考した結果、日本写真判定株式会社に運営をお願いすることになった。

包括民間委託を始めて約9ヶ月間、経営の効率化を図っている。具体的には、来場者数が減少していることから投票窓口を状況に応じて集約化したり、無料バスについて利用者が少ない時間の本数を減らすなどの見直しを行っている。

「競輪場周辺の清掃や警備」について

- 包括民間委託後も従来どおり必要な水準を確保することとしていることから、目立った変更点はない。

ただし、駐車場周辺の草刈りについては、これまで年2回、専門業者に依頼していたが、経営状況が厳しいことから受託会社の職員で夏場に1度草刈りを試みた。しかし、桜の木付近はかなり傾斜がきつく、素人では対応できない部分もあることから、従来どおり専門業者に依頼することとし、1月22日の週には草刈りを実施したいと考えている。

また、来年度以降も引き続き年2回の草刈りを行っていきたいと考えている。

「競輪ファンを増やす取り組み」について

- 若い方に来てもらえるように、ホームページの活性化、効果的な新聞広告、初心者向けの競輪教室など、できるだけお金

をかけずに地道な取り組みでファンサービスを行っていききたい。

「アマチュア自転車競技の振興」について

- これまで高校生や大学生などに対し、練習場所として貸出し等を行ってきたが、委託先である日本写真判定株式会社ではアマチュア自転車競技に力を入れていることから、向日町競輪場で京都サイクルクラブを立ち上げ、毎月1回プロ競輪選手による指導が受けられる機会を設けている。現在、会員は約260名であり、愛知県や兵庫県などの遠方の方もおられる。

「平安賞」について

- 今年度は8月31日から9月3日までの4日間開催し、売上は56億円であり、前年より2億円増となった。

「ミッドナイト競輪の実施」について

- 向日町競輪場では、平成30年度にミッドナイト競輪への参入を検討している。ミッドナイト競輪は午後9時から11時頃の夜間開催のため、来場者は入れず、インターネット投票のみで行う競輪であり、経費を抑え、効率的に収入を得ることができる。

向日町競輪場には照明設備がないため、奈良競輪場を借り上げて年4回ほど開催したい。また、地元開催ではないため、影響はないものと考えている。

「魅力のふるさと むこう、むこう。賞」について

- 今年度は8月16日から3日間開催した。来年度以降も引き続き開催し、向日市の魅力を全国に発信していきたい。

会 長 自転車競技事務所から説明がありました競輪開催状況等について、ご質問がございましたらお願いします。

委 員 向日町会館の女性トイレを1箇所作っていただいたが、さらに増やせないか。

自転車競技事務所長 炊事場を改装して1箇所作ったが、スペースや費用面から増設

は難しいと考えている。検討はしたいが、取り急ぎ場内のトイレをご利用いただきたい。

委員 最近、京都市内では外国人観光客等が増えているが、競輪場にも外国の方を呼び込むような施策はないか。

自転車競技事務所長 競輪自体が外国の方には馴染みがなく、呼び込めていないのが現状である。今後の検討課題にしたい。

委員 市民会館が閉館後、向日町会館の利用が増えているが、市民会館が改修されるまで、終了時間を午後9時から30分延長できないか。

自転車競技事務所長 向日町会館の利用が増えていることは認識している。しかしながら、人員の確保等、問題もあることから検討課題とさせていただきたい。

委員 向日台団地13棟から15棟の東側のり面と15棟の北道路側にある高い木の剪定をしてほしい。

自転車競技事務所長 まずは現場を確認し、優先順位を付けて対応していきたい。

委員 退場時に外にごみが出ないようにガードマン等による対応をお願いできないか。

自転車競技事務所長 西入場口は、今まではごみ箱の設置は1つだけであったが、最近1つ増やした。また、ごみ箱にごみを捨てていただくように啓発用の貼り紙を出入り口付近に設置することを検討している。

委員 開催日数はどのようにして決めているのか。

自転車競技事務所長 全国で日数の割り当てがある。昔は本場開催で儲かっていたが、

近年は本場での売り上げが減少傾向にあることから、本場開催を減らして場外開催を増やしている。また、場外開催についての制限はないため、できる限り売り上げの上がりそうなレースを選定するようにしている。

委 員 平成27年度、28年度に野球・サッカーの利用者数が大幅に減っている理由はなにか。

自転車競技
事務所長 こちらが制限しているわけではないので、単に申し込みが少なかったためである。

委 員 向日町競輪はいつまで実施するのか。

京都府総務部
副部長 抜本的な施設改善は費用面からも難しい。しかしながら、スタンドやバンクの改修をする中で、黒字を維持している。仮に災害で使用ができなくなったり、競輪場以外に土地の利用を行う必要性が出てきた場合は検討が必要であるが、平成29年4月から3年間の包括民間委託を行っているため、少なくとも3年間は継続する。この間に、向日市の意見も伺いながら、競輪場のあり方や今後の利用方法についても検討を進める。現時点でいつまでということとは決まっていない。

委 員 競輪施設の耐震状況について。

自転車競技
事務所長 選手の宿舎や管理棟、第3投票所は現在の耐震基準を満たしている。また、バンクの正面にある中央スタンドについては、平成16年頃に耐震補強を行っている。なお、平屋の投票所や向日町会館については、耐震基準の対象外となっている。

委 員 競輪場に行きたくなるようなイメージの転換について。

自転車競技
事務所長 今年度から包括委託を行っており、そこから色々と提案もいただいているので、民間のノウハウを伺いながら、低コストでも対

応できるような取り組みを検討していきたい。

委 員

市が競輪を開催している自治体は、市が広報等のPRを行っている。向日町競輪場は京都府が開催しているが、向日市からも競輪をPRしてはどうか。

会 長

市が開催している競輪について、市が広報するのはもちろんであるが、向日町競輪場は京都府が開催しており、向日市が市民の税金を使ってPRすることの是非については、改めて市議会にて議論していただく内容と存じます。

会 長

意見も出尽くしたようでございます。京都府におかれましては、この場で出ましたご意見ご要望を十分ご検討、ご配慮いただき、今後の競輪運営に当たっていただききたいと思っております。

本日は皆様、お忙しい中ご出席いただきありがとうございますございました。